

タイ経済指標斜め読み

(2024年8月版)

ビジネスサポート部
加藤義人
kato@mat.co.th

1. 【集計データ：投資額】

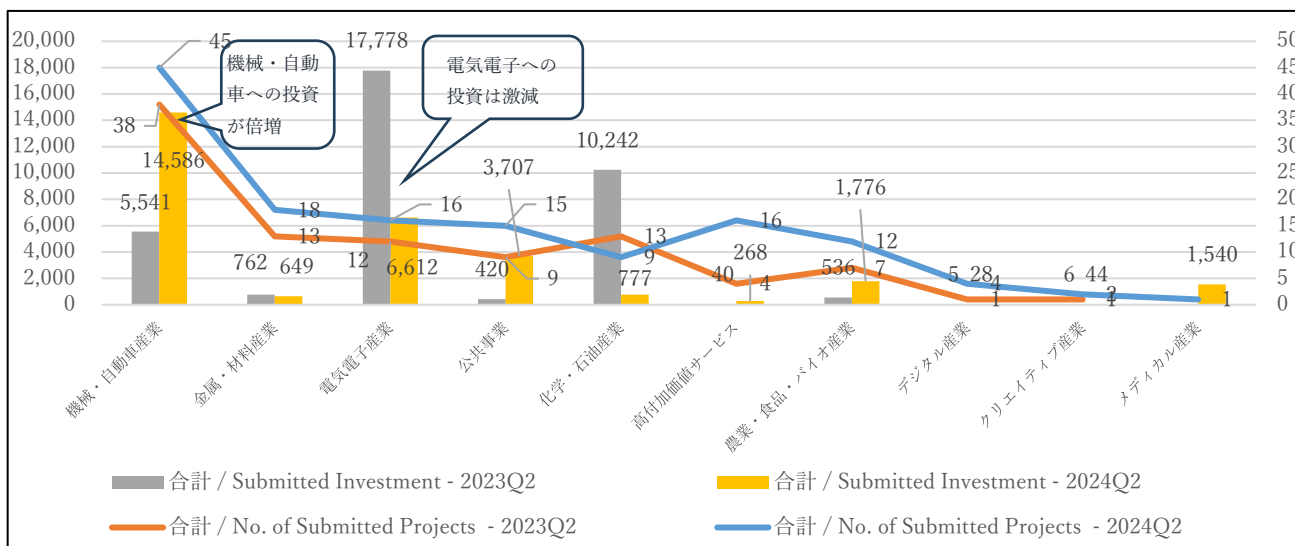
タイ投資委員会（BOI）は、2024年Q2（4-6月）の投資申請額（百万THB）を発表した。

					FY2024	
	2023/2Q	2023/3Q	2023/4Q	Total	2024/1Q	2024/2Q
BOI 申請全体	178,692	168,171	315,725	848,318	228,207	231,153
世界(外国)	148,786	94,486	264,712	663,239	169,322	156,414
日本	10,559	7,824	35,997	79,151	14,981	15,006
金額割合(日本)	7.1%	8.3%	13.6%	11.9%	8.8%	9.6%
BOI 申請全体前年同期比		-23%	40%	28%	23%	29%
世界前年同期比		-26%	67%	53%	9%	5%
日本前年同期比		-62%	173%	56%	-40%	42%

日本からの投資がプラスに転じた

2024年のQ2の全体投資額は2,311億THB（前年同期比+29%）、外国からの投資額は1,564億THB（前年同期比+5%）、日本からの投資額は150億THB（前年同期比+42%）となった。また、同期の日本からの投資額は全体の9.6%となり、前年同期比の7.1%を上回った。

次に、下グラフは、日本からの投資申請額（百万THB）と同件数を産業別に表示したものとなる。



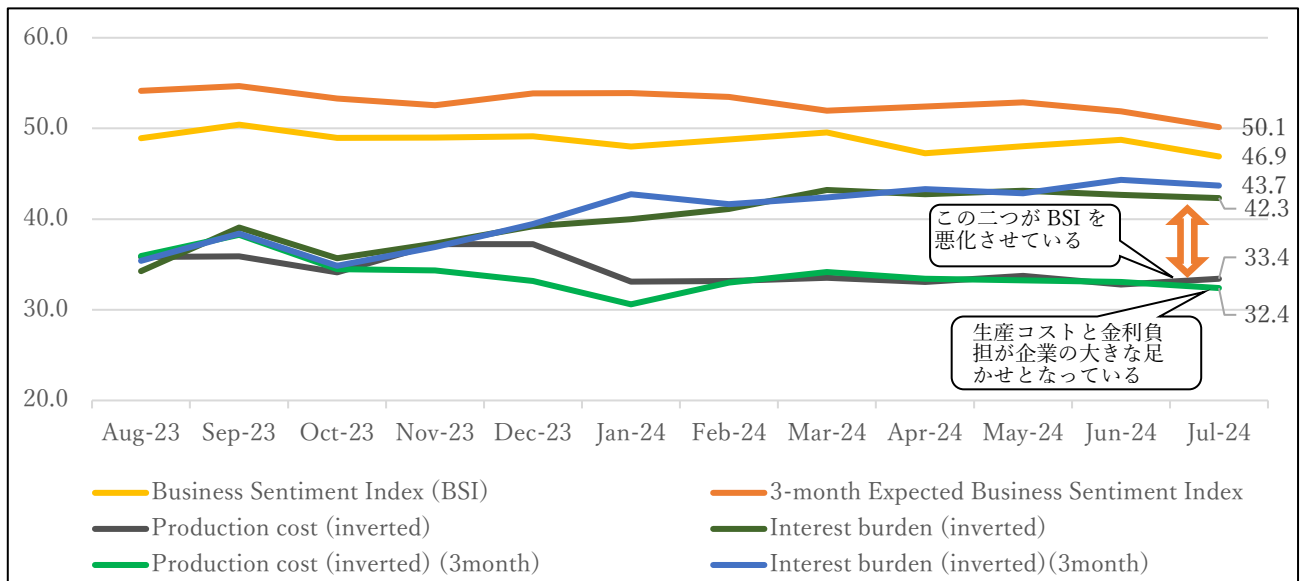
2024年Q2（1-6月までの累積）で最も投資申請額が大きかったのは、機械・自動車産業の146億THB（申請件数45件）であった。次に電気電子産業で、前年同期比では最大、申請件数は16件と増加はしたが、投資額は66億THBと半分以下に留まった。

一方、公共投資事業が15件で37億THBと前年同期から9倍以上の額となった。鉄道、下水道、道路建設など地元企業との共同でのインフラ建設事業が増加している模様。自動車関連への投資は、EVやHEVピックアップトラック向けとなる。

出所：<https://www.boj.go.th/>

2. 【指数データ：景気指数】

タイ中央銀行は、7月の景況感指数（BSI）ならびに3か月後の期待値を発表した。今回は、BSIを構成する要素である生産コストと金利負担も共に表示。（50=前月から安定）

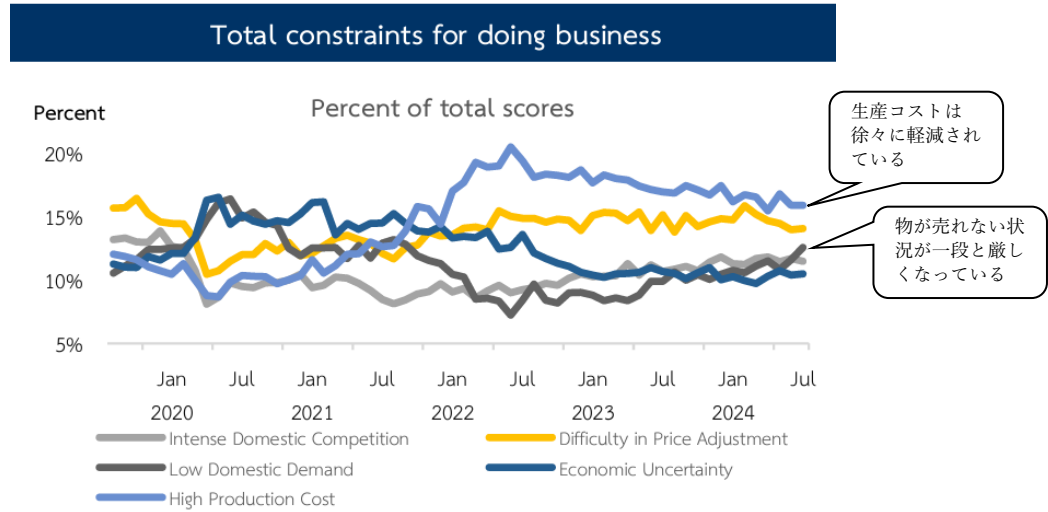


7月のBSIは46.9となり、2021年10月に記録した47.0以来の低い数値となった。また、3カ月の期待値は50.1となり、こちらも2021年9月に記録した50.7以来の低い数値となった。要因として、上グラフにある通り、企業にとって、生産コストと金利負担が大きな足かせとなっていることが見て取れる。

出所：<https://www.bot.or.th>

3. 【調査：アンケート】

BOTは7月、ビジネスを行う上での障害に関するアンケートを関係の766企業に対して実施した。



今月の最も大きな障害となったものは、「生産コスト高」、次に「価格調整の難しさ」、そして3位には、先月最下位から急上昇した「国内需要の低下」となった。家計債務がGDP比の90%を超え、個人消費に影響を与えていることや、タイ国内の政情不安、自動車ローンの厳格化など、タイ政府が進めるデジタルワレットキャンペーンの遅延など、消費マインドを底上げする要素が見当たらない状況。

出所：<https://www.bot.or.th>

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2024 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。